

マネジメント重視による競争優位を実現する学習塾ビジネス支援コンサルティング

学年平均と偏差値だけで子供の能力を判断してよいのでしょうか。

生徒をクラスター判別して特性に応じた学習プログラムを組み立てることが成績向上につながります

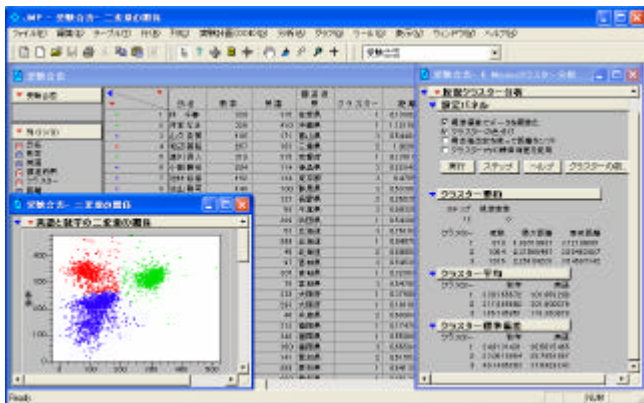
一人一人の生徒の顔が違うように一人一人の能力や適正も違います。しかし、その差は遺伝子学と同じように生物種としての違いの上に発現段階の違いそして最後にスニップ（個体差）としての違いに起因するものと考えられます。だとすれば**各生徒のセグメント（種類）ごとの成長モデルを構築できればセグメントごと成長段階ごとに最適な指導方法や教育コンテンツを設計できるはず**です。そして最後に個体差部分についてだけ個別対応することができればテーラーメイド教育が実現できるのです。



テスト駆動教育プログラム

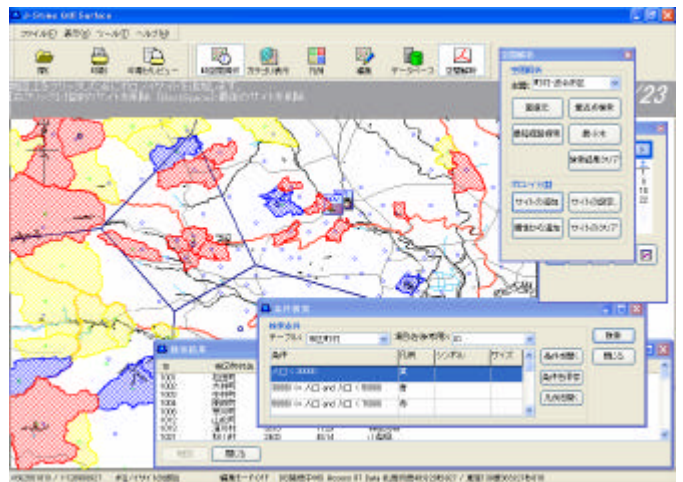
従来のな学習 テスト 成績評価という教育サイクルから**テスト 成績評価 弱点強化**という**テスト駆動の教育サイクル**に変革することによって、**弱点はなんでも繰り返し学習し、得意分野は急速に能力アップさせていくことが可能になります**。テスト駆動におけるテストは学習の成果を測るものではなく、**生徒のセグメントや成長段階、個体差を継続的に監視して学習方針（指導方法や教育コンテンツ）を決定するためのもの**です。

そして、テスト駆動による**教育記録データが蓄積されていくことで生徒の成長モデルの信頼性が高まり、過去の類似生徒の教育結果から学習効果の高い学習方針を探り当てることができる**ようになるでしょう。



GIS地理情報システム

学習塾の集客にはGIS地理情報システムの利用が非常に有効です。**地域ごとの入塾適性年齢の人口数とその世帯位置の把握、ポロノイ分析による競合先との位置関係から割り出される商圈から、確率の高い広告展開が可能**となります。また、商圈の中で生徒が少ないエリアを把握して販促強化するなどのピンポイントの営業活動も可能です。出店計画においても潜在顧客数と競合状況、交通の便などを把握した上で最も有利となる候補地を割り出すことができます。



杉浦システムコンサルティング,Inc

〒 600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93 京都リサーチパーク6 号館401 号
 TEL 075 (321) 5528 FAX 075 (315) 8497
 Email sugiura@mbox.kyoto-inet.or.jp HomePage <http://www.st.rim.or.jp/> ryoma